

第1部 文明と地域世界の形成

2 南アジア世界・東南アジア世界の形成

3 東南アジア世界の形成（教科書 P. 46～47）

① 交易と外来文化の影響 [p. 46]

大陸部 バナナ・ヤムイモなど []

群島部 サゴ椰子を利用する []

[] (前5世紀ごろ～)

・鉄製農具を用いた []

・ベトナムから東南アジア各地に広まる

☆東南アジア…中国とインド洋世界の交点にある

→両世界の宗教や文化の影響を受けいれつつ、独自の国家や文化を展開

② 群島部の交易国家 [p. 46]

マレー半島

・紀元前後に [] が渡来

・グプタ朝時代に文字や儀礼が伝来

スマトラ

・7世紀 [] が中継貿易で繁栄

→ [] を信仰

唐僧 [] がおとずれる

中部ジャワ

・8世紀 [] がおこる

→仏教寺院 [] 建設

東部ジャワ

・13～14世紀

マジャパヒト王国のもと [] が形成

→バティック (ジャワ更紗)

ワヤン (影絵芝居)

③ 大陸部の国家建設 [p. 47]

[] (1～7世紀)

- ・海上交易とメコン川流域の稲作で繁栄

[] ([]) (9～15世紀)

- ・クメール人が建国し、半島中部を統一
- ・強大・神格化された王権
- ・灌漑稲作が発達
- ・ヒンドゥー寺院 [] を建設

[]

- ・ベトナム南部にチャム人が建国
- ・海上交易で繁栄

④ ミャンマーとタイの仏教国家 [p. 47]

[] (ビルマ)

- ・稲作の発展を背景に [] 成立(11世紀)
 - 国王の保護のもと、スリランカとの交流により [] が確立
 - タイ・カンボジア・ラオスへと伝播

タイ

- ・元の侵攻後、 [] が成立(13世紀)
 - 上座部仏教を受容し、シャム文字をつくる

☆東南アジアでは上座部仏教が発展するが、南アジアでは仏教が衰退し、ヒンドゥー化する